

高隈の恵みを活かし人々が集う郷づくり



上別府の棚田

地区概要

高隈地区は、高隈山と笠野原台地に囲まれた中山間地で、地区内には、国営第一号の畑地かんがい事業で造られた高隈ダムによる人造湖「大隅湖」や、その湖畔に県の国際交流施設「アジア・太平洋農村研修センター」がある。

コミプラ設立の経緯、拠点整備

平成19年に4つの町内会が合併して誕生した大黒町内会と、平成24年に7つの町内会が合併して誕生した高隈町内会が、平成25年に鹿屋市のモデル事業として、地区内の各種団体

と保育園・小中学校等と連携して準備委員会を設立。先進地視察や住民アンケート等を行い住民の意見を集約したうえで、平成27年に高隈地区コミュニティ協議会を設立した。

米の保管庫として使われていた石蔵を改修し、活動の拠点として整備。また、農協事務所跡を「たかくまふれあい館」として改修し、高齢者のサロン活動や、移住体験宿泊ができる環境を整えている。その他、自主財源確保のための事業として、地区内にある火葬場の管理運営業務を指定管理者として受託している。

特徴的な活動

①ドライブサロン事業で高齢者の買い物支援

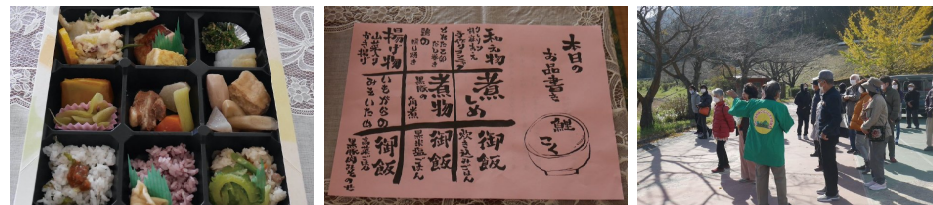
地区内の社会福祉法人や社会福祉協議会と連携し、週に1度地区外の商業施設へ送迎を行う「ドライブサロン」事業を行っている。交通手段の無い高齢者等の買い物支援と併せて健康状況の確認や安否確認、生きがいづくりを目的とした生活支援サービスで、地域全体で高齢者を支える仕組みづくりを行っている。



ドライブサロンの様子

②山菜弁当がつなぐ地域の輪

高隈の地元で採ったセリやクレンソウ、ゼンマイを使った健康でヘルシーなお弁当。もともとは閉校した高隈高校で作られていたもので、復刻にあたっては、当時の高校の先生に協力をもらい、味を再現している。平成25年からツアー観光客等に販売しており、地域の貴重な収入源となっていることに加え、レシピの考案から食材調達、製造まですべての工程を地域の人で行うことにより、作ることで地域住民の交流のツールとなっている。



山菜弁当

ツアー客への対応

今後の展望（コミプラの声）

活動を継続的に行うためにも自主財源の確保を目的とした事業内容を考える必要がある。また、宿泊体験施設を整備し、人口減少を防ぐための定住促進を進めることや、益々進む高齢化に対応できるように有償ボランティアの検討を行いたい。そして、地域の観光資源を活かしてその魅力を伝え、関係人口の増加を図るとともに、地域を継続して盛り上げるためのリーダー育成にも力を入れていきたい。

鹿屋市から一言

高隈地区コミュニティ協議会は設立以来、地域住民や関係団体等が一体となって地域活性化に向けた取組を積極的に行っています。令和3年度は、鹿児島女子短期大学と連携協定を結び、「おむすびコンテスト」を開催し、高隈米を広くPRするなど、非常に地域のやる気を感じています。また、自然溢れる高隈地区は子どもがのびのび育つ環境であるため、空き家を活用した定住促進を進めていきたいと考えています。財源確保や観光振興等の目標を掲げて様々な事業に取り組んでいる高隈地区をこれからも一緒に盛り上げていきたいと考えています。

利用した補助金など

- ・過疎地域集落ネットワーク圏形成支援事業（総務省）（H29年度）
- ・地域貢献活動サポート事業（県）（R元年度）
- ・地域コミュニティ協議会交付金（市）（H27年度～）



わたしたちと高隈
高隈地区コミュニティ協議会

Passion

地域の恵みを活かすべし！